

スポーツの秋・文化の秋、頑張る部活動



全道陸上  
新人戦  
大健闘!



全日本少年春季全道新人戦



第38回管内吹奏楽祭

バレー部、卓球部も、日々の活動を頑張っています

校内主張発表大会 10月8日(木)14:10~

1. 祥平くん「人間関係」
2. 花実さん「差別のない国へ」
3. 日奈さん「パラリンピック」
4. 濡さん「支え」
5. 久瑠美さん「あいさつ」
6. 里咲さん「後悔から学んだこと」

毎年素晴らしい発表です。ぜひ聴いてください!

<10月行事予定> 9月29日現在

日	曜	行 事	部活	給食	バス
1	木	2年生職業体験 3年生酪農体験 衣替え期間	×	○	14:35
2	金	2年生職業体験 中標津高校体験入学 ALT	○	○	16:00
3	土		△		
4	日	パイロットマラソン	△		
5	月	発育測定 放課後学習	○	○	16:00
6	火	職員会議	○	○	14:35
7	水	3年生学カテスト 2年生生協加工実習 SC はくちょう号	○	○	16:00
8	木	校内主張発表会 PTA三役会	○	○	16:00
9	金	生徒会役員選挙	○	○	16:00
10	土	英検②1次	△		
11	日		△		
12	月	体育の日	△		
13	火	朝会 文化祭特別時間割開始	○	○	16:00
14	水		○	○	16:00
15	木	弁当の日	○	弁	16:00
16	金	ALT	○	○	16:00
17	土		△		
18	日		△		
19	月		×	○	16:00
20	火		×	○	16:00
21	水	SC はくちょう号	×	○	16:00
22	木		×	○	16:00
23	金	文化祭総練習 漢検	×	○	16:00
24	土	文化祭準備	×	弁	15:30
25	日	文化祭	×	弁	16:00
26	月	振替休業	△		
27	火	振替休業	△		
28	水	研修日 SC 部活動冬時間	○	○	14:35
29	木	放課後学習	○	○	16:00
30	金	委員会(拡大) ALT 教育相談期間開始	○	○	16:00
31	土		△		

10月13日(火)から、文化祭特別時間割が始まります

地域の協力に支えられて

9月16日(水)に、地域でコンビニエンス・ストアを経営されている山崎辰司様に、2年生対象に、職業講話をしていただきました。

「接客六大用語」についての実習をしていただくなど、生徒にとって非常に役立つ御指導をしていただきました。



9月26日(土)、鈴木實連合町内会長、横堀昭康まちづくり委員長を講師に迎え、「駅前の歴史を学ぶ講演会」を実施しました。お二方の、経験に裏打ちされた重厚な語り、生徒は、興味深そうに、真剣に耳を傾けていました。地域・保護者の方々にも聴いていただき、有意義なひと時となりました。



職業体験でお世話になります~よろしくお祈りします

わたなべ商店様、クローバーハウス様、別海駐屯地様、別海パークホテル様、西春別自動車工業様、上西春別保育園様、上西春別幼稚園様、レストランかつら様、みどり建工様



学校だより



# 青葉が丘

平成27年9月29日

第7号

別海町立上西春別中学校

発行責任 校長 志道 仁

教育目標

- 知 ~自己のよさを生かし、意欲的に学習する生徒
- 徳 ~明るく思いやりの心と言動に責任を持つ生徒
- 体 ~辛苦に耐える強靱な心身を持つ生徒

## 自ら発する色は鮮やかで、煌く！

校長 志道 仁

木の葉が賑やかに色づき、その場所、その時でなければ味わえない、個性豊かな風景が創り出される季節になりました。特に森の木々は「そうして下さい」とお願いしたこともなければ、「そうなる」ように手を加えたわけでもないのに、本当に個性豊かな色を醸し出します。どの様に色づけば、皆が喜ぶのかをわかっているかのようです。

我々人間も、個性豊かに色づき成長します。何か特別なことをするのが個性ではなく、その人の生き方そのものが個性ですから、人間の数だけ個性があるのです。人間社会は、無数の種類に賑やかに色づいた森に似ているのかもしれませんが。

しかし、木の葉自らがそうなる森に比べ、最近の人間社会は自らその色を発することが少なくなっているような気がします。それは、どちらかという自ら発した色ではなく、「付けられた」色であり、いつの間にか色落ちし、鮮やかさが消えてしまっているのです。

自ら鮮やかな色を発するためには、暖かさ一杯の太陽の光をからだ全体でたっぷりと受け取ったり、荒々しい気候にしっかりと耐えたり、栄養分たっぷりの水分を残すことなく吸い取る根を縦横無尽に張り巡らせる必要があります。それが、人間社会では、どれも不十分である気がするのです。

特に、待ちきれない大人たちに囲まれた子どもは、鮮やかな色を発する力が弱い傾向があります。それは、「してもらおう」ことに慣れてしまった子どもは、自ら色を発することを忘れてしまうからです。または、発することを知らないままに生きているからです。

成長するということは、模倣と試行錯誤を連続するということです。模倣するにも試行錯誤するにも時間がかかります。それを待ってもらおうことなく「してもらおう」ことの連続に慣れてしまうと、成長が止まってしまうということなのです。だからこそ「させる」ことが大切なのです。時間をかけてでも、自ら模倣と試行錯誤を連続させることを身に付けると、多くの体験が個性を創り上げます。個性は次の模倣と試行錯誤を呼び起こし、益々個性が伸張されます。自ら放つ色ができあがるのです。

このように、愛情を「してあげる」行為のみで測るのは危険です。もちろん、生まれてからしばらくは「してあげる」ことがないと、生きていけません。ましてや、模倣する「範」をきっちりと教えることなく「させよう」としても、そこには大きな無理があります。教えることなく、待っているのは放任に他なりません。バランス良く教え、そして「させる」ことが個性の伸張には大切なのです。

学校は個性を伸張する場所でもあります。だからこそ、全てを「してあげる」のではなく「させる」ことが大切になります。学力も体力も、他人が頑張る身に付く力ではありません。普段から「してもらおう」ことが多いのに、学習だけは自分でやりなさいでは通用しません。行事や道徳、教科等全ての分野で「させる」ことが大切になるのです。

我々も、子どもたちが模倣したくなったり、試行錯誤したくなったりする学校を創り上げていかなくてはなりません。「してあげている」ことに自己満足している学校にはしない覚悟をもって、今年度の後半に臨まなくてはならないのです。学力に関して、行事に関して『子どもが伸びる』学校になるよう、団結して取り組んでいきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

# 全国学力・学習状況調査の結果から、よりよい生活・学習を！

4月に、3年生対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の分析結果をもとに、これからの学習、生活について考えてみました。各学年とも、ぜひ参考にいただければと思います。

○非常に高い・低い=5%以上 ○高い・低い=3%以上5%未満、 ○やや低い・高い=1%以上3%未満、 ○同程度=1%未満

## 1. 学力状況の結果から

国語A（主として「知識」に関する問題）…**全体的に見て、全国平均と比べて、低い結果です。**

各領域について みた場合	話すこと・聞くこと	全国平均と比べて、 <b>非常に低い</b> 結果です。
	書くこと	全国平均と比べて、 <b>低い</b> 結果です。
	読むこと	全国平均と比べて、 <b>非常に低い</b> 結果です。
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	全国平均と比べて、 <b>やや低い</b> 結果です。

上西中学生が  
苦手な問題

「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する。

適切な語句を選択する（彼がこの討論の口火を切った）

二つの回答案の構成の違いを説明したものとして適切なものを選択する

国語B（主として「活用」に関する問題）…**全体的に見て、全国平均と比べて、低い結果です。**

各領域について みた場合	話すこと・聞くこと	全国平均と比べて、 <b>非常に低い</b> 結果です。
	書くこと	全国平均と比べて、 <b>やや高い</b> 結果です。
	読むこと	全国平均と比べて、 <b>低い</b> 結果です。
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	

上西中学生が  
苦手な問題

文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く

資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く

演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く

数学A（主として「知識」に関する問題）…**全体的に見て、全国平均と比べて、低い結果です。**

各領域について みた場合	数と式	全国平均と比べて、 <b>低い</b> 結果です。
	図形	全国平均と比べて、 <b>非常に低い</b> 結果です。
	関数	全国平均と比べて、 <b>非常に低い</b> 結果です。
	資料の活用	全国平均と比べて、 <b>同程度</b> です。

上西中学生が  
苦手な問題

赤いテープの長さがa cmで、白いテープの長さの3/5倍のとき、白いテープの長さをaを用いた式で表す

連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ

比例のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求める

数学B（主として「活用」に関する問題）…**全体的に見て、全国平均と比べて、やや高い結果です。**

各領域について みた場合	数と式	全国平均と比べて、 <b>やや高い</b> 結果です。
	図形	全国平均と比べて、 <b>低い</b> 結果です。
	関数	全国平均と比べて、 <b>高い</b> 結果です。
	資料の活用	全国平均と比べて、 <b>高い</b> 結果です。

上西中学生が  
苦手な問題

映像の明るさを2倍にするための投映画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する

投映距離と投映画面の高さの関係を式で表す

四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように点Fの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する

理科…**全体的に見て、全国平均と比べて、やや高い結果です。**

各領域について みた場合	第1分野・物理的領域	全国平均と比べて、 <b>非常に高い</b> 結果です。
	第1分野・化学的領域	全国平均と比べて、 <b>低い</b> 結果です。
	第2分野・生物的領域	全国平均と比べて、 <b>同程度</b> です。
	第2分野・地学的分野	全国平均と比べて、 <b>やや高い</b> 結果です。

上西中学生が  
苦手な問題

同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸ナトリウムであるかを選ぶ

湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する

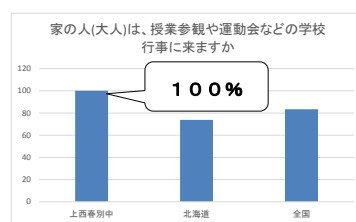
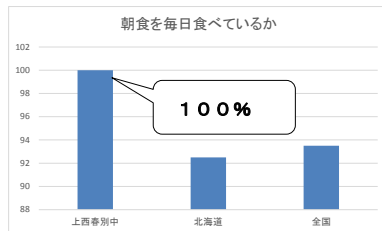
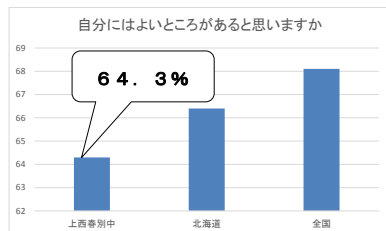
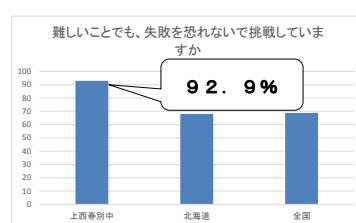
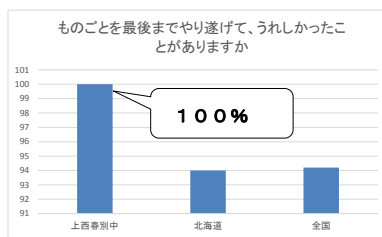
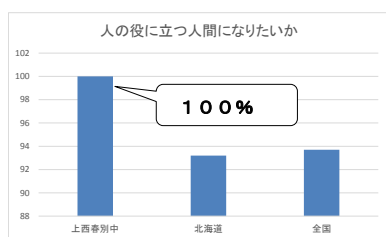
音の高さは、空気の部分の長さに関係している仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ

**苦手な問題でも、無解答率は低く、努力する姿勢が見られました！**

※青少年の健全育成に向けて「早寝、早起き、朝ごはん。テレビを止めて外遊び」

2. 学習状況の結果から…対策も含めて

- 「国語の勉強は好きですか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」生徒が、85.7%（昨年度76.2%）で、全道59.7%、全国58.2%と比べて非常に高い数値となっています。また、「国語の授業の内容はよくわかりますか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」生徒は92.9%（昨年度85.7%）で、全道72.5%、全国72%と比べて非常に高い数値となっています。国語の授業に興味を持ち、ある程度理解はできていますので、家庭学習をきちんと行い、授業で身につけた知識を定着させることが必要です。
- 「数学の授業の内容はよくわかりますか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」生徒が78.6%（昨年度76.2%）で、全道70.6%、全国71.5%と比べると、高い数値となっています。また、「数学の勉強は大切だと思いますか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」生徒が100%（昨年度95.2%）で、全道80.6%、全国82.1%に比べて、非常に高い数値となっています。数学の学習の必要性を強く感じながら、理解・定着が不十分な面がありますので、帰宅後、上手に時間を生み出しての家庭学習での復習、反復学習が必要です。
- 「理科の授業の内容はよくわかりますか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」生徒が、85.7%で、全道69.9%、全国66.8%と比べて非常に高い数値となっています。また、「理科の勉強は大切だと思いますか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」生徒が92.8%あり、全道70.0%、全国69.3%に比べて、非常に高い数値となっています。観察・実験にも興味を持って取り組んでいる結果が出ていますので、授業で学習した内容を、どのように定着させるか、授業後の復習をきちんと行い、理解を深める習慣づけを行っていく必要があります。
- 平日の家庭学習が、1時間以内の生徒が21.4%（昨年度38.1%）います。休日の家庭学習が、1時間以内の生徒が7.1%（昨年度28.6%）います。家で、学校の授業の復習をしていない生徒が14.3%（昨年度28.6%）います。平日の読書を全くしない生徒が42.9%（昨年度42.9%）います。
- 平日、テレビやDVDを見る時間が3時間以上の生徒が21.4%（昨年度28.6%）います。平日テレビゲーム類をする時間が2時間以上の生徒が28.5%（昨年度38.1%）います。平日、スマートフォンを使用する時間が、1～2時間の生徒が28.6%います。30分～1時間の生徒が14.3%います。30分以下の生徒が21.4%です。  
※携帯電話、スマートフォンを持っていない生徒が35.7%です。



3年生を筆頭に、本校生徒は、授業を初めとする学校でのいろいろな活動に、「素直に」「一生懸命」取り組んでいますが、そういった様子が、これらのグラフからも、読み取ることができます。

「朝食を毎日食べさせてくれる」「授業参観や運動会などの学校行事に来てくれる」保護者の支えのもと、「人の役に立つ人間になりたい」という思い、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった」という思いを、さらに育てていきます。そして、全ての生徒が、「自分にはよいところがある」と思えるよう、生徒一人ひとりの実態に即した支援・指導を心がけてまいります。